

# 親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝石箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター  
いせきくん、やよいちゃん

## 3 宮北の大歳神社 おおとし

今月は宮北の大歳神社を紹介します。



▲地域の歴史を秘めて今も



- 【クイズ】  
大歳神社の「大歳」はどのような神様でしょう。
- ① 歳とともに、のんびりする神様
  - ② 一年間の雨を決める神様
  - ③ 一年間、家や田を守る神様

播磨町には大歳神社が一家しかありません。でも、このお社は歴史があるお宮で、播磨町の歴史にとっても意義のあるお宮ではないかと考えられています。

まず、大歳神社があるところは、播磨小学校の南側で、別府から役場に来る浜幹線の北側です。毎朝、通学する子どもたちを見守る位置にあります。お宮の前の広場には桜の並木があり、地域の方々が手入れをされ、憩いの場にもなっています。

一見、コンクリートでなにか新しくそうなこのお社。地域の方に大切にされて、昔から受け継がれている大歳神社の歴史は非常に古いと考えられます。それは、ここに奉られている大歳の神の信仰が、農耕の始まりとともに始まったからです。まず、大歳の神は正月になると家々にやってきて、一年間、家や田を守る約束をします。守護の約束をした大歳の神は「歳徳とんとく」さんともいわれ、一月十五日の「左義長さぎやなが」のとき、山へ帰っていくといわれます。

このような信仰のある大歳神社が、播磨町でも、古代から栄えていた「阿閑の津」の近くにある点に一つの深い意義がありそうです。播磨町で最初に水田がつくられた場所はどこかを考えるとき、この神社の位置は一つのヒントになりそうです。今から五十年前、このお宮の周りは水田でした。あたかも、そこだけは神聖な場であることを示すように、すくとお社はたたずんでいました。今は家に囲まれて、ひそかにたたずんでいるけれど、桜吹雪の中、人々をあたたく見守っています。  
(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ③一年間、家や田を守る神様

町の人口 5月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)  
34,280人(+8人) 男…16,860人(+7人) 世帯数…13,456(+21)  
女…17,420人(+1人)

